

町田市スポーツ推進審議会
議事要旨

日 時 2022年2月7日(月) 18:00~20:00

場 所 オンライン会議 webex

出席者

川崎 登志喜	委員(会長)	玉川大学教育学部 教授
永吉 英記	委員	国士舘大学体育学部准教授
西井 義昭	委員	一般財団法人 町田市体育協会 副理事長
中澤 悦子	委員	町田市スポーツ推進委員
水野 洋子	委員	NPO 法人スポーツ塾 J.VIC 理事長
林 忠司	委員	町田商工会議所 企業支援部長
坂井 早苗	委員	市民委員
塩塚 大海	委員	市民委員

欠席者

宮崎 光次	委員(職務代理)	桜美林大学健康福祉学群教授
北川 達三	委員	社会福祉法人賛育会第二清風園 施設長
薄井 忍	委員	南中学校校長

事務局

文化スポーツ振興部スポーツ振興課長	高梨 光之
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当課長	平野 圭
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当係長	荒木 康伸
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当係長	地寄 一敏
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当係長	須田 恵美子
文化スポーツ振興部スポーツ振興課主任	阿部 正宏
文化スポーツ振興部オリンピック・パラリンピック等国際大会推進課	石井 敬子

傍聴者 0名

議事

1. 開会
2. 事務局紹介
3. 報告事項
 - (1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピックに係る町田市の取組みについて
 - (2) 2021 年度スポーツに関する市民意識調査アンケート調査結果について
 - (3) 町田市スポーツ推進計画 19-28 進捗状況について
 - (4) 町田市スポーツ推進計画 19-28 アクションプラン進捗状況について
4. 議事
 - (1) 町田市スポーツ推進計画 19-28 およびアクションプラン進捗状況について
5. 事務局
6. 閉会

配布資料

- ・ 次第
- ・ 東京 2020 オリンピック・パラリンピックに関する町田市の取組みについて（報告）
- ・ 資料 1-1 スポーツに関する市民意識調査アンケート抜粋
- ・ 資料 1-2 スポーツに関する市民意識調査アンケート報告書
- ・ 資料 2 町田市スポーツ推進計画 19-28 進捗状況（2021 年度）
- ・ 資料 3-1 2021 年度 町田市スポーツ推進計画 19-28 アクションプラン進捗状況（主な実施事業）
- ・ 資料 3-2 2021 年度 町田市スポーツ推進計画 19-28 アクションプラン進捗状況（詳細）

議事要旨

1. 開会
2. 事務局紹介

事務局より開会の挨拶、および出席職員の紹介を実施した。

3. 報告事項

- (1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピックに係る町田市の取組みについて
- (2) 2021 年度スポーツに関する市民意識調査アンケート調査結果について
- (3) 町田市スポーツ推進計画 19-28 進捗状況について
- (4) 町田市スポーツ推進計画 19-28 アクションプラン進捗状況について

事務局（オリンピック・パラリンピック等国際大会推進課）から「東京 2020 オリンピック・パラリンピックに係る町田市の取組みについて（報告）」をもとに説明を行なった。

事務局（スポーツ振興課）から「資料 1-1 スポーツに関する市民意識調査アンケート抜粋」、「資料 2 町田市スポーツ推進計画 19-28 進捗状況（2021 年度）」、「資料 3-1 2021 年度 町田市スポーツ推進計画 19-28 アクションプラン進捗状況（主な実施事業）」をもとに説明を行った。

川崎委員 資料 3-1 「みる」スポーツの環境について、総合体育館や GION スタジアムの大型映

像装置の利用を PR していきたいとのことだが、利用料金は一般の方でも利用しやすい料金か。

事務局 大型映像装置の利用料金については、総合体育館が1時間あたり2,500円、GION スタジアムは2時間あたり11,200円となっている。

永吉委員 資料1-1 市民意識調査アンケート19、20ページについて、特徴的に新型コロナウイルス感染症の状況もあり、「テレビやインターネット等で観戦した」という回答が前年度と比べ、比率が高くなっている。

実際、私の身近でも様々な試合を実施するにあたり、保護者が試合を観戦することが難しくなっており、昨年度末頃からビデオ映像を配信して、保護者に見てもらおうといった取組みが行われている。ビデオ機器等もそれに対応したものが出てきている。

課題としては、インターネットのWi-Fi環境や通信環境が整備されていないがゆえに、映像を配信できないといったことがある。大学では、グラウンドにWi-Fi環境を整備するなどの取組みを行っている。

町田市の施設では、Wi-Fi経由で映像を配信したりすることはできるか。

事務局 町田市立総合体育館については、全館の整備まではできていないが、観客席のみWi-Fi環境を整備しており、ASV ペスカドーラ町田が所属するFリーグの試合の際等には、Softbank ユーザーの方はWi-Fi環境を利用して、ABEMAの無料配信を見ながら観戦することができる状況にある。なお、陸上競技場については、把握できていない。

永吉委員 資料3-1 「まちとも」、「まちサポ」について、どのような団体で、どのような活動をしているのか、教えていただきたい。

また、イベントに対する参加者数の動向をどの程度把握しているのか。

事務局 「まちとも」は、放課後の校庭や空き教室等で無料で遊ぶことができる「放課後子ども教室」で、市内全42校で実施しており、スポーツ以外にも文化活動等様々な取り組みを行っている。スポーツ振興課は、まちとも運営協議会と地域スポーツクラブが連携し、スポーツに関するプログラムの提供が行えるよう調整をしている。

「まちサポ」は、スポーツ祭2013東京国体を契機に結成されていたスポーツを中心としたボランティア団体。主な活動として、スポーツに関連するイベントのボランティアやホームタウンチームに関連したボランティア、今年度はオリンピックのロードレースに関するボランティア等を行なった。

イベントの具体例としては、スポーツ推進委員がスポーツにチャレンジという小学生向けの教室を実施している。2021年度は、新型コロナウイルスのワクチン接種会場となったことにより、会場が使えなかった時期もあり、2回しか開催できなかった。1回目は総合体育館のサブアリーナ、2回目サン町田旭体育館のアリーナで実施した。参加者は10人程度で、例年と比較して参加者はとても少なかった。

4. 議事

(1) 町田市スポーツ推進計画 19-28 およびアクションプラン進捗状況について

川崎委員 2023 年度で町田市のスポーツ推進計画の前期が終わる。国の第 3 期基本方針が今年 3 月に出る予定だが、国の方針を受けて、町田市の後期アクションプランについても検討していく必要がある。事務局からの報告を受けて、3 つの視点でそれぞれの立場からご意見をいただきたい。

1 つ目は、子どものスポーツ嫌いについて、こんな工夫をするとよいのではないか、といったご意見をいただきたい。

2 つ目は、30 代から 40 代のスポーツ実施率について、今年度大きく上昇している。分析としては、テレワーク等の浸透により、通勤時間等をスポーツや運動の時間に使うことができたのではないかと事務局から報告があったが、実際の事例等があればご意見をいただきたい。

3 つ目は、来年度や後期アクションプランに向けて、アクションプランの中にこんな取組・工夫があったら良いのではといったアイデアをいただきたい。

水野委員 子供のスポーツ嫌いに関して、陸上教室やスポーツ教室を開催するとスポーツが好きな子が参加している。スポーツが苦手な子のためのスポーツ教室等をやったら良いのではないかと。

実施する種目は体育の授業で行うような種目を取り扱い、なかなか体育の授業の中では全員ができるところまでは指導できないので、苦手な子が苦手なまま、できないまま進学・進級していかないように、地域スポーツクラブでサポートしていけるような教室を開催していけると良い。

来年度に向けての工夫としては、先ほどの資料 3-1 スポーツ情報の発信というところで、私達のクラブも自宅でできる運動動画を作成した。現在、第 2 弾の作成をしている。スポーツの様式も変わってきているので、Wi-Fi 環境を整備することや市民のニーズに合った動画を作成して発信していけると良い。

林 委員 30 代 40 代のスポーツ実施率が上がっていることについて、特にテレワーク等によって家にいる時間が多くなり、今まで通勤に使っていた時間なども割愛できている。

自宅で簡単にできるような運動や会社では健康経営も会社の役目となっており、就業前にラジオ体操を行うなど、企業も健康経営の推進を行っている。もう少し浸透していけば、30 代 40 代のスポーツ実施率も上がっていくのではないかと。行政と協力・連携しながら進めていけるとよい。

中澤委員 スポーツ推進委員会をしており、今までは体育館にある道具を使ってパルクールのコースを作り、15 分で何周まわれるか等、競うような教室を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、道具は使わない、人と接しない教室を検討する中でダンスやエア縄跳びを実施し、「競う」から離れて、運動が苦手な子供や 30 代 40 代の保護者が少し汗を流す、全身を動かすという内容の教室を実施した。フィットネスのような今までと違う方向性が見つかった。

塩塚委員 いくつか質問と意見をさせていただきたい。

まず 1 点目は、資料 1-1 の 17 ページの下にある「公園等での事件が増えている」とあ

るが、これはどういった内容か。具体例はあるか。

事務局 実際には事件が起きているといったことではなく、不審者情報など子どもだけで遊ばせるのは危険と感ずるか、といったことを想定している。

塩塚委員 例えばこの中にボールがぶつかった、怪我をしたといったようなことも含まれているのか。

事務局 それは想定していないが、アンケートを回答した方はそういった事も想定して回答しているかもしれない。

塩塚委員 スポーツマップの裏面に記載されている公園の利用のルールについて、「ボール遊びは小学生まで」と記載されている。例えば、これを真に受ける親子がいたら、親子ではキャッチボールができないと思ってしまう。何か苦情などがあつたからこのような記載になっているのか。

事務局 本来、公園は誰でもみんな楽しい場所であってほしいというのが大前提ではあるが、公園の周りに後から住宅が増え、近隣の方から遊び方について非常に強い苦情が入るといったこともある。一概に「公園でボール遊びはやめましょう」ということは、市としてもやりたくはないが、場所によっては、近隣住民との調整により禁止事項が増えている現状がある。

スポーツマップは、小さい子だけで柔らかいボールで遊んだり、親子でキャッチボール程度であればしても良いという場所をスポーツ振興課と公園緑地課で、情報共有しながら、紹介できる公園や広場を掲載している。

塩塚委員 例えば、小・中学校の学校で公園の利用マナー教室とか、そういうことをやっていけば禁止するのではなく、そのような啓発活動ができると良いのではないかと。

体力テストについて、実際に昨年の体力テストに参加した。体力テストをするだけでなく、食に関するイベントや健康全般に関するイベントを一緒に開催した方が、人が集まるのではないかと。また、開催場所についても、シバヒロなど芝生の会場で開催しても良いのではないかと。

最後に SNS の活用について、全く活用されていないように感じる。YouTube 等で町田出身の有名なアスリートとコラボしてはどうか。

坂井委員 今、子どもたちが一番好きなのはゲームである。うまくそのゲームで体を動かすことを考えていく必要がある。最近ではゲームでも身体を動かすものが多い。ふれあい館やこどもセンター、市民センターといった身近なところで、年齢を問わず子どもから高齢者まで一緒にできる催しを定期的に行うことができると楽しんでスポーツに触れられるのではないかと。

また、まちだサポーターズに所属しているが、オリンピックで他の自治体もボランティアを集めていたが、オリンピック終了とともに解散してしまうところが多い。町田市は国体からずっとやっている「まちサポ」をこれからも応援していただけるということなので、皆様も何か機会があればよろしくお願ひしたい。支える側として、これからは、まちだサポーターズ自身の会員が資質を向上していく必要がある。

川崎委員 坂井さん、新しいメンバーは増えているか。

坂井委員 オリピック・パラリンピックで会員の募集をしたので、実際に在籍が 800 名程度。ただ、幽霊会員もいるので、現在事務局で整理をしている。

西井委員 体育協会には37団体が所属しており、シニアの活動が盛んである。ジュニアの活動について嵩上げていきたいと考えている。体育協会の加盟団体と連携しながら町田市スポーツ推進計画19-28アクションプランについて我々は取り組んでいる。

30代のスポーツ実施率については、働き盛りの人にスポーツや運動をどのように進めていくのか。今は新型コロナウイルスの影響で、自宅にいる方は運動のためにという働きかけは行っている。

来年、再来年あるいは後期5ヶ年については、オミクロン株で先の状況が見えない。大会の中止が3年間続いている。柔道、空手等様々な競技、あるいは東京都の大会や市町村体育大会等も全部中止になっている。

永吉委員 子供のスポーツ嫌いに関しては、中学校の問題で部活動との関係というのが大変大きい。「競う」とか「勝つ」とかそういう部活動が多く、担当される先生も少なくなってきた。他の自治体では、ヨガやストレッチ、ダンスといった部活が展開されており、女子の参加者が多くなっているという報告を受けている。中学校の女子に関しては、このような部活動が対応策となるのではないかと。男子では、ウェイトトレーニングや基礎トレーニングなど体をかっこよく見せるといった取組みを行っているところもあると聞いている。

元々30代40代のスポーツ実施率は、基本的にはウォーキングやストレッチ等の実施率が高かった。ウォーキングからトレッキングをしたり、美味しいものを食べるにウォーキングして食べて帰ってくる等が行われていると聞いている。そういうのが少し加速して、少し情報提供できると、さらに30代40代なんかは実施率が上がってくるのではないかと。

アクションプランのアイデアについては、先ほどからWebでいろんな運動の方法や試合の様子等を配信するということが増えてきているが、配信するテクニック等がわからないという方がとても多い気がする。例えば、ビデオを配信するための講座や注意すべきことといったような、スポーツに関する配信の講座みたいながあると良いのではないかと。

塩塚委員 アクションプランについて提案がある。学校を卒業した子供たちにアプローチするのが良いのではないかと。学校を卒業するとスポーツ施設を無料で使用することができないので、スポーツをする習慣がなくなっていく。例えば、半額または無料で使用できる日・期間を設けることで、小学生や中学生、高校生、大学生がスポーツ施設を使えるのではないかと。学校を卒業する子供たちにアプローチすることで、ゆくゆくは30代40代になった時の運動習慣にも繋がるのではないかと。

川崎委員 様々な意見をいただき、大変参考になった。

Wi-Fiの環境については、5Gの時代に対応した環境を市として随時整えていく必要がある。また、苦手な人に向けた教室という話があったが、スポーツ教室のアイデアとしては良いのではないかと。

5. 事務局から

事務局 議事要旨を2月18日までに委員に送付する。修正は2月25日までにいただきたい。委員の現在の任期中の審議会開催は、今回が最後となる。次期委員の委嘱については、相談させていただく。計画策定にご尽力いただいた委員の皆さまには継続して、計画の

進捗についてご意見をいただきたい。市民委員の委嘱については、公募となっている。ぜひ、再度応募いただきたい。

6. 閉会

以上